

クロスジユミモンクチバ

Melapia japonica

兵庫県：要調査

環境省：－

種の概要

開張38mm程度。前後翅ともに暗黄褐色で、前翅基部から外横線に向かって太い黒条を有する。海岸部から平地に生息するが、生態の詳細は不明。成虫は5月～10月まで見られ、年多化性と考えられている。

(画像無し)

国内分布

本州、四国、九州、淡路島、小豆島、対馬、男女群島、天草諸島、種子島、屋久島、トカラ列島、奄美大島、石垣島

県内分布記録

洲本市、南あわじ市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
				○	○

特記事項

Cランクから要調査種に変更
南方系の蛾。本県は分布の北限になる。県内では淡路島のみに生息。個体数は少ない。

保護上の留意点